「美術」の教員を目指す君へ！

本気で美術科教員を目指すなら。。。

秋田大学

教育文化学部
学校教育課程教育実践コース
美術教育研究室

美術教育研究室の位置づけ

秋田大学教育文化学部・学校教育課程・教育実践コースで「美術」を専攻している学生は、「美術教育研究室」に所属して、学びを深めていきます。

教育文化学部
学校教育課程 ― **教育実践コース** ― **美術教育研究室**

美術教育研究室の学びの流れ

美術教育研究室に所属している学生は、美術科の教員として必要な「美術」に関する知識・技能とともに、小学校教員としても必要な内容について学んでいます。美術教育研究室は、美術科や図画工作科の教員としての高度な実践力を身につけ、児童・生徒の視線に立った教育を行うことのができる学校教員の養成を目指しています。

「美術科」教員として必要な知識・技能を学ぶ → **小学校教員として必要な知識・技能を学ぶ** → **教員一般に必要な知識・技能を学ぶ** → **教員としての実践力を身につける**

1年次

中学校・高校の「美術」の教員免許状取得に必要な絵画、彫刻、構成・デザイン、工芸、美術史・美術理論、美術教育に関する科目を一通り学習

☞「秋大美術の専門科目」を参照

- 初等教科教育学科目
- 初等教科専門科目
- 教育学・心理学　等

《基礎教育科目》
- 人間形成論Ⅰ～Ⅲ
- 情報処理入門
- 生涯学習論
- 生涯発達心理学Ⅰ～Ⅲ　等

2年次

《専門教育科目》
- 教職導入ゼミ
- インクルーシブ教育論
- 教授・学習の心理学Ⅰ・Ⅱ
- 教育方法技術論Ⅰ・Ⅱ
- 情報教育実践論Ⅰ・Ⅱ
- 道徳教育論Ⅰ・Ⅱ
- 特別活動論Ⅰ・Ⅱ
- 情報教育実践論
- 児童の理解と指導
- 生徒の理解と指導
- 教育臨床概論Ⅰ・Ⅱ
- 自然災害と防災教育　等

教育実習（主免１期・２週間）
⇒附属小学校

教育福祉実習

3年次

研究分野に分属・専門研究に着手

⇓

教育実習（主免２期・３週間）
⇒公立中学校

教育実践ゼミナール

4年次

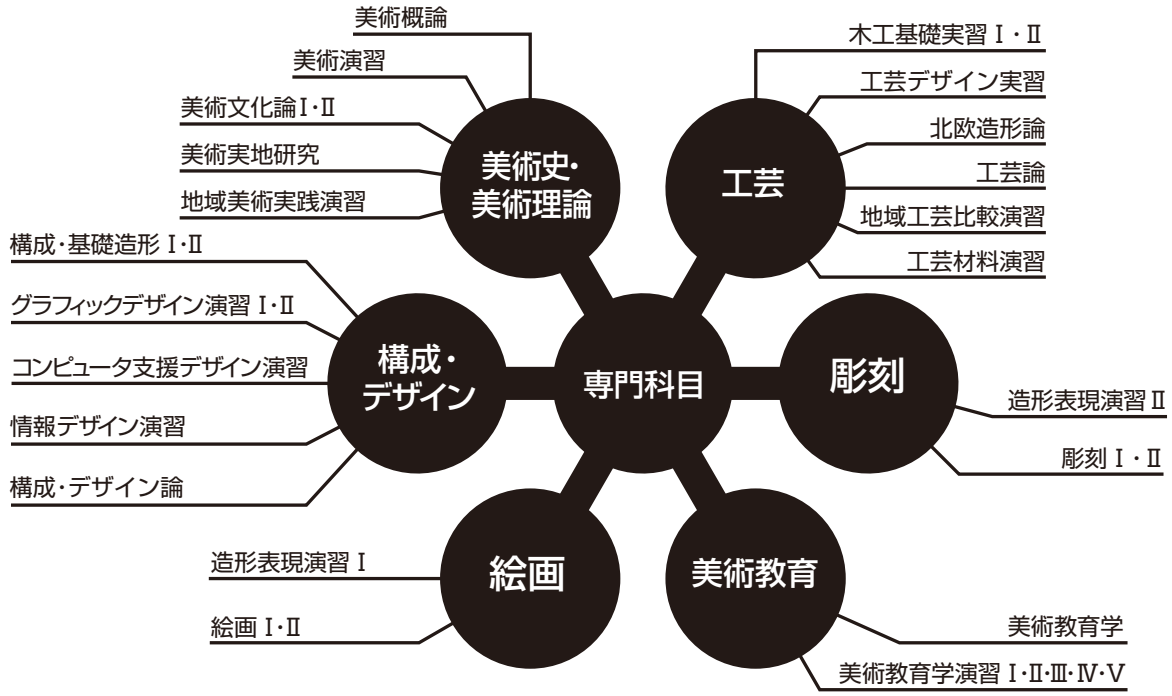
卒業研究

教育実習（副免・２週間）

教職実践演習

「美術」の専門科目

「美術」の領域全般を幅広く学ぶことができるように、絵画、彫刻、構成・デザイン、工芸、美術史・美術理論、美術教育に関する専門科目を配置しています。これらの専門科目や規定の授業を履修し所定の単位数を取得することによって、美術科の教員免許状を取得することができます。



※平成29年4月から、「美術」のカリキュラムの内容が新しくなりました！

美術教育研究室 担当教員

美術教育研究室には、非常に高度かつ特色のある研究テーマを研究している教員が配置され、「美術」の授業を担当しています。
※この他にも、非常勤講師が「美術」の専門科目の授業を担当しています。

《氏名》　《専門分野》　《研究テーマ・研究内容》

遠藤 敏明【教授】　**美術・工芸教育、木材工芸**

スウェーデンのスロイドとその教育

北欧家具やスカンジナビア・デザインがいかに創られるのかを知るため、スウェーデンの大学にあるスロイド・インスティテュートで学びました。スロイドとは、日本の工作、工芸、手芸、クラフトから彫刻領域まで含みます。木材・金属や繊維・布などの身近な素材を利用した立体造形活動全体を表す言葉です。現在の研究テーマは、木を素材として「もの」を作り出すこと、その形を導き出すプロセスを明らかにして教育に役立てることです。

長瀬 達也【教授】　**美術教育**

秋田県自由画教育運動の研究

図画教育は明治期から始まりましたが、教科書などの図版を模写するだけで、子供の自由な表現を否定していました。このような図画教育に反対した洋画家の山本鼎は、大正７年に自由画教育を提唱しました。自由画教育は発祥の地である長野県や、東京だけではなく、全国各地でも多様な発展をみせていて、北東北の秋田県でも実施されました。この過程を「秋田魁新報」などによって研究することで、美術教育の未来を考えています。

石井 宏一【准教授】　**構成・デザイン**

デザイン方法論としての「情報表現」

デザイン学の立場から「情報表現」に関する研究を行っています。情報をデザインするためには「メディア・テクノロジー」と「アート」を融合し、情報に「かたち」を与えて「人間の感覚」に適合させる、すなわち「情報表現」が必要です。これを実現する上で本研究ではCG、プログラミング、デザインプロセス、数理的規則性等の考え方に着目し、情報表現的可能性の探究を目的とした造形実験を通じて「新しいデザイン」の発見を目指しています。

佐々木 千佳【准教授】　**美術史・美術理論**
※地域文化学科所属教員

15～16世紀のイタリア・ルネサンス期の美術

美学・西洋史のうち、15～16世紀にかけてのイタリア・ルネサンス期の美術について研究しています。特に北イタリアの古都ヴェネツィアで制作された祭壇画をはじめとする絵画が、都市の動向や文化的状況とどのように関わり、また役割を果たしていたのかについて考えています。あわせて、近代の黎明期に活動した芸術家たちの活動を当時の社会における「芸術」の成り立ちとともに考察することで、芸術家のアイデンティティ形成の特質を探っています。

取得可能な資格

《卒業要件で取得可能な資格》
教員免許状(小学校１種及び中学校１種(美術)) または
教員免許状(小学校１種及び中学校２種(美術))
※高等学校一種(美術)も取得可能

《その他に取得可能な資格》
教員免許状(中学校１種・２種(各教科)、高等学校１種・２種(各教科)、特別支援学校１種・２種、幼稚園)、保育士、社会教育主事、図書館司書、学校図書館司書 等

美術教育研究室所属学生の卒業後の進路(過去5年間)

《学校教員》
秋田県教諭(小)、秋田県講師(小・中・高)、山形県教諭(小)、東京都教諭(小)、千葉県講師(中)、秋田大学附属小講師 等

《民間企業等》
損保ジャパン日本興亜キャリアスタッフ、オフィス21、リスペクト、生活協同組合 等

《公務員・公的機関》
秋田県立美術館、秋田県警察、仙台市

《大学院進学》
秋田大学大学院

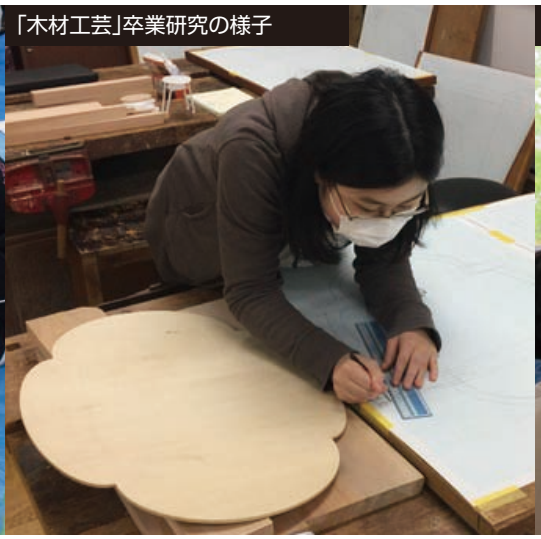
造形表現演習Ⅰでの素描実習

グラフィックデザイン演習Ⅰの作業の様子

授業課題による学内展覧会の様子

図工の授業研究の様子

「木材工芸」卒業研究の様子



初等図画工作の授業の様子

秋田大学 教育文化学部
美術教育研究室
〒010-8502
秋田県秋田市手形学園町１－１
TEL：018-889-2670(石井研究室)
FAX：018-833-3049
http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/